

## ニフンデジューブン サンプル企画 「今がその時！ 中学生篇」

テーマ：「今がその時 ～Now's the Time～」

### シノプシス (大意)

優等生でクラスでもそこそこ人気の「進藤晃 (しんどう あきら)」。  
ある日 (6月7日)、(6+7 で出席番号 13 でこと) 授業中に指名されるが答えられない。  
「わかりません。。。」。  
「へ～。晃が珍しいなあ。」とは担任の「柳川忠志 (やながわ ただし)」。  
屈辱をバネに復讐に燃える進藤少年。  
シミュレーションの結果、次に当てられるのは 6/13 あるいは 7/6 に違いない。  
(ストレートに 13 あるいは  $7+6=13$ )  
万全の態勢でその日をのぞむ進藤少年。  
6/13。。。あてられず。。。  
7/6！ついに来るか？  
「今日は 7/6 だから。。。  $7\times 6$  で 42 番の渡部祐子 (わたべ ゆうこ)」  
「かけんのかよ！！！」こだまする進藤少年の叫び声。

### 人物設定

進藤晃 (しんどう あきら)

14 歳。市立東雲南 (しののめみなみ) 中学校 2 年 1 組のクラスリーダー。  
成績は優秀で常に学年で 10 番以内に入るが、トップになったことはない。  
みんなを積極的に引っ張るタイプではなく、軸がぶれてると感じた時に、クラスを誘導して軌道修正をはかるタイプ。押し付けがましいところを見せないでそこそこ人気がある。  
ただし、実は勝負にかなりこだわる性格。

柳川忠志 (やながわ ただし)

38 歳。市立東雲南中学、社会化教諭。柔道部副顧問。  
大学卒業後、企業の柔道部に所属。しかし 2 年目に怪我をし柔道部を退く。そのまま会社に残ることも出来たが、かねてより希望していた教育の道を進むことに。  
怒ると怖い、細かいことにはこだわらないフランクな先生で、生徒から慕われている。  
しかし、生徒の中にはフランクというよりは無遠慮に感じて傷つく者もいるので、  
そんな時は、柳川先生も敏感に察しフォローするようにしている。

## プロット

1. 自室で歯噛みする進藤少年。  
独白。「あの日の屈辱は忘れない。。。」
2. 6月7日授業中、  
6月7日だから6+7で、という理由で出席番号13番の進藤少年が指名される。  
が、答えられない。  
「珍しいなあ」柳川先生の独り言。
3. チャイムが鳴り授業終了。  
クラスメートから「おまえでも答えられないことあんだな」と駄目押し。
4. 再び進藤少年、自室。  
あの惨劇を繰り返さないためには。。。とシミュレーション。  
次に当てられるのは、6/13 かもしくは 7/6 (7+6=13) に違いない！！
5. 日々勉強に励む進藤少年。
6. 6月13日！ 進藤少年、指名されず。  
クラスメートから「ちょっとやつれた？」
7. 再び自室で勉強に励む進藤少年。目の下の隈が目立つようになる。  
それでも進藤少年の闘争心は揺るがない。  
「柳川先生のこれまでの指名パターンからして 7/6 に間違いない！（はず。。。）」
8. 7月6日！！今日こそはと意気込む進藤少年。  
柳川先生の授業が始まる。進藤少年の鼓動が聞こえる。
9. 「ではこの問題、今日は7月6日だから。。。。」  
ついにキタか！はやる進藤少年！高鳴る鼓動！すっと立ち上がる進藤少年。  
思い起こされる苦闘の日々！「そして今、その苦労が報われる。。。」  
「7かける6で42番の渡部。」
10. 「かけんのかよ！」  
憤怒の表情で絶叫。残響の中、立ち尽くす進藤少年。そしてあっけにとられるクラス。